

— Kagawa Time Signal —

香川県森連時報 41

(令和6年夏発行)



香川県森林組合連合会

〒760-0008

香川県高松市中野町23番2号

Tel : 087-861-4352(代)

<http://www.ka-moriren.or.jp/>



第 74 回通常総会開催



令和 6 年 5 月 31 日（金）午前 10 時より、本会 2 階会議室において、第 74 回通常総会が開催されました。五所野尾会長は挨拶の中で、安定供給できる国産材への期待が高まっており、当会としても昨年 12 月に、県並びに県内企業との三者による「香川県産木材に関する建築物木材利用促進協定」を締結するとともに、県産木材の供給と利用の促進を積極的に進めていること、また地域の森林整備の担い手である森林組合の活動を支援するため、経営計画の策定指導や搬出間伐の技術的援助など、森林組合と連携した取り組みを引き続き進めることを述べました。

令和 5 年度の各事業については、積極的に各部門の事業量確保に努めるとともに経費の節減に努めた結果、計画を達することができたことを報告し、今後とも会員各位のご協力と関係機関のご支援をお願いしました。続いて表彰が行われ、下欄の方々に表彰状と記念品が贈呈されました。



役員の一部	小野 隆	香川西部森林組合
〃	三好 勉	香川西部森林組合
作業班員の部	尾藤 静史	香川西部森林組合
〃	吉田 昌彦	香川西部森林組合
〃	川畑 正二	香川県森林組合連合会
職員の部	平井 佑典	香川西部森林組合
〃	山本 聖	香川西部森林組合

その後、池田知事をはじめ、松原県議会議長、宮本県議会林活連会長、名本森林管理事務所長、樋口木材協会理事、米田農林中央金庫部長よりご祝辞を賜りました。

なお、議事については、議長に和泉仲南町森林組合長が選出され、提出 9 議案すべて可決承認されました。

引き続き任期満了による役員選挙を行い、総会終了後直ちに理事会、監事会を開催し執行体制を審議しました。

代表理事会長	五所野尾 恭一
副会長理事	佐々木 博
代表理事専務	道久 工（実践理事）
理事	三宅 義明
〃	井上 喜代文
〃	宮本 欣貞
〃	松原 壯典
〃	西村 仁志
〃	植松 登
〃	和泉 博美
〃	久保 義博（新任）
代表監事	行梅 義照
監事	十川 英博（新任）
〃	堀口 光久（新任）

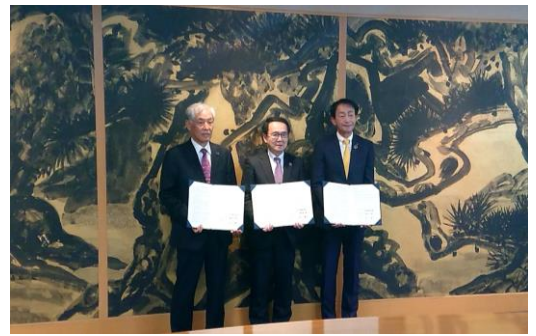
建築物木材利用促進協定締結

香川県森林組合連合会 × 大倉工業株式会社 × 香川県

令和5年12月15日（金）、建築物における県産木材の利用促進にあたり、県内の人工林の整備と利用を進め、構造用製材及び構造用集成材の安定的な供給を通じて、森林資源の循環利用に貢献していく協定を締結しました。

協定の名称 「香川県産木材に関する建築物木材利用促進協定」

協定の期間 「令和5年12月15日～令和9年3月31日」



協定を締結した（左から）本会の五所野尾会長、池田知事、大倉工業(株)神田社長＝県庁

森林組合役員・職員研修会開催

令和6年1月25日（木）、本会2階会議室において、令和5年度森林組合役員・職員研修会を開催しました。県下森林組合の役職員を対象に、香川県環境森林部森林・林業政策課 主任 川上喜裕氏から「造林事業の現状と課題について」、全国森林組合連合会 組織部部長の淡田和宏氏から「森林組合システムの現状について」、「理事監事の役割、コンプライアンスについて」の講義説明、その後「人権問題研修」を行い、出席者20名が熱心に研修を受けました。



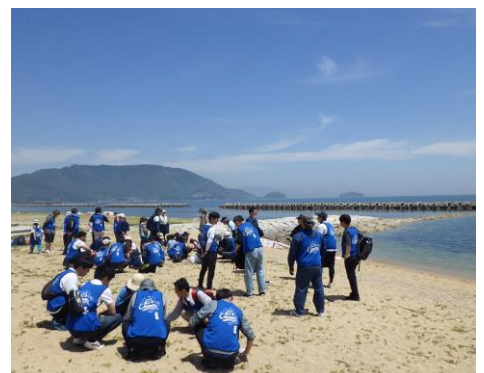
香川県産ヒノキを使用した「木製カルトン」をJA香川県に寄贈

令和6年3月18日（月）、本会は香川県農業協同組合、農林中央金庫高松支店と連携して香川県産ヒノキを使用した「木製カルトン」を190個製作、寄贈しました。県産木材を積極的に利用してもらうことで、地域の森林・林業を元気にする活動に取り組んでいます。2022年12月にJA香川県と本会は、包括連携協定を締結し、持続可能な農業・林業を目指すとともに豊かで住み続けられる地域社会づくりに関することや農地・森林が有する多面的機能の情報発信に取り組んでいます。



かがわ協同組合連絡協議会の清掃活動に参加

令和6年5月18日（土）、本会をはじめとする県内の10団体で構成する「かがわ協同組合連絡協議会」が、津田の松原の海岸で清掃活動を実施しました。同協議会は協同組合の価値や社会における役割を県民に認知してもらい、連携して新たな価値を創出することを目的として平成25年6月に設立され、持続可能な開発目標「SDGs」を取り入れた社会貢献活動を毎年行い、本年は総勢約55名がさぬき市公民館にて海ごみ講座を受け、その後現地の海岸清掃を行いました。同協議会は使用済み切手を回収し香川県ユニセフ協会に贈呈するなどの活動も行っています。



第 74 回全国植樹祭に出席

令和 6 年 5 月 26 日（日）、天皇皇后両陛下ご臨席のもと、岡山県岡山市北区「ジップアリーナ岡山」において、「晴れの国 光で育つ 緑の心」をテーマに、第 74 回全国植樹祭が開催され県内森林組合関係からも 6 名が参加しました。式典では、天皇皇后両陛下が少花粉ヒノキなど 6 種類をお手植え、少花粉スギなど 4 種類をお手播きされ、「それぞれの地域において日頃から森林や緑を育てる活動に尽力されている全国の皆さんに敬意を表し、そうした活動が、今後とも多くの人々によって支えられながら、更に発展していくことを期待いたします。」とおことばを述べられました。



また、アトラクションには、開催県の高校の演劇部の生徒らが出演し、豊かな森林を未来に引き継ぐことの大切さを表現しました。当日は天候が崩れることもなく、式典は無事に終了しました。

J F 香川県漁協青壮年部連絡協議会主催の下草刈り作業への参加

令和 6 年 6 月 8 日（土）に、高松市公洲森林公園内において、香川県漁協青壮年部連絡協議会主催による竹林整備を目的とした下草刈り作業が実施され、本会からも職員が参加しました。

これは近年における瀬戸内海の低栄養塩化による漁場環境の変化により、漁業生産の継続が危惧されていることから、香川県漁協青壮年部連絡協議会が森林と海の相互関係を重視し、侵入竹等により荒廃した森林の機能を回復させるため広葉樹を植栽し、豊富な栄養が河川を通じて海に流れ込むよう平成 25 年から取り組んでいるもので、今年度は以前植栽したクヌギコンテナ苗木 300 本の周辺の下草刈り作業を実施しました。



さぬき空港公園便り

さぬき空港公園は、高松空港に隣接する 67.8ha の広さを持つ都市公園で、桜が多く植栽されている「カントリーゾーン」、噴水や天然芝のグラウンドがある「ポートヒルゾーン」、広大な芝生広場が広がる「アドベンチャーゾーン」、離着陸する飛行機を真下から見ることができる「スカイゾーン」、県下で唯一グラススキーが楽しめる「グラススキー場」の 5 つのゾーンに分かれています。

ポートヒルゾーンにあるイベント広場は、どなたでも無料で利用することができ、大変好評な広場となっております。



600 人規模のグラウンドゴルフの大会や、幼稚園などの運動会、サッカーやラグビーの練習場としてよく利用されています。また、記念広場には水遊びができる噴水があり、休日には多くのお子さんたちで賑わっております。

今年度の主なイベントとして、「真夏の雪遊び」や「グラススキー感謝祭」、「健康ミニマラソン」、「一輪車教室」を開催する予定です。その他にも、当公園のマスコットキャラクター「さぬたんぬり絵コンテスト」



や、「ファミリー向けグラススキー教室」、「グラススキー指導者向け講習会」のイベントを計画しているほか、高松空港周辺の施設と連携した

スタンプラリーも開催する予定にしております。

コロナ禍ではイベントの開催を断念したり、様々な感染対策をしながら開催してきましたが、これからはより魅力的なイベントを開催し県民サービスの向上につながるよう、スタッフ一同鋭意努力してまいります。